■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策１：子育ち・親育ちの支援の充実　　施策①：安心して生み育てられる環境の充実

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】<br>施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 子ども課 | 子ども教育部 | 子育て支援課 | 12 | 344,459 | 1 | 待機児童数 | 人 | 74 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 100.0% | 66.7% | B | 施策に対する指標１、指標２は、達成度及び進捗率ともに良好で達成できている。施策実現に係る各事務事業が有効で成果が出たものと考える。<br>一方、指標３の年度達成率は68%と低調である。保育所などのサービスの当事者となる小学生以下の児童と同居している人の満足度は28.3%と全体数値より５ポイント高くなるものの、前年度より９ポイント下がっている。また、「そう思わない」と回答した割合が40.7%と「そう思う」と回答した割合と逆転が生じている。近年、保護者が望む子育てニーズは経済的援助の充実が高い水準で挙がっており、国の保育料無償化事業を超える事業を行う自治体がある中、本市においても無償化の範囲の拡大を求める声がある。このことがサービスが充実していないと思う一因になっていると推測される。求められるサービスが社会情勢や経済情勢等により、変化・拡大していく中、根本となる「受け皿確保」の事務事業を６年度以降も継続して行っていく。 | 成果上昇、コスト増大 |
| | | | | | | 2 | 児童扶養手当受給者で就業を希望する人のうち、就職に結びついた人の割合 | % | 52.6 | 86.7 | 70.0 | 75.0 | 80.0 | 123.9% | 100.0% | | | | |
| | | | | | | 3 | 保育所などのサービスが充実していると思う市民の割合（市民満足度調査） | % | 26.5 | 23.1 | 33.8 | 36.9 | 40.0 | 68.3% | 0.0% | | | | |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 2 | 1 | 児童健全育成事業費 | 子育て短期支援事業 | 子育て支援課 | 平成29年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>市内に住所を有する児童<br><br>手段<br>緊急一時的に児童を保護することが必要な場合等に、市が委託する施設で児童を預かり養育を行う。また、保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合についても、一定期間（７日以内）養育を行う。<br><br>目的<br>児童の安全の確保及び養育が一時的に困難となった場合に、児童を一定期間保護又は預かりを行い、当該児童の養育等を確保することで児童虐待防止を図り、もって、これらの児童及びその家庭の福祉向上を図ることを目的とする。<br><br>成果<br>一時的に保護が必要な児童の養育等を確保できる。さらに、子育て支援の充実につながる。<br>【令和5年度実績】<br>子育て支援<br>・短期入所生活援助（ショートステイ）事業：利用なし<br>・夜間養護等（トワイライト）事業：利用なし<br><br>児童虐待対策事業<br>・児童虐待防止対策支援事業（レスパイトケア）：利用なし<br>相談件数：4件 | 受け入れ施設数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 100.0 | 100 | 358 | 0 | 268 | A | 管轄児童相談所が遠方にあり、児童虐待防止及び緊急に児童の保護を要する場合に必須の事業でもあり、廃止できない。 | 3 |
| 3 | 2 | 2 | 就学前教育・保育施設整備事業費 | 民間保育所施設整備事業（実計） | 子ども課 | 令和3年度 | 令和８年度 | 一般会計 | 対象<br>施設整備事業を実施する私立保育所<br><br>手段<br>老朽化した施設の建替え等を行う私立保育所等に対して、当該施設整備に要する費用の一部を補助する。<br><br>目的<br>保育環境の整備を行うとともに、待機児童の解消を図る。<br><br>成果<br>１施設整備 | 整備実施施設数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 100.0 | 133,259 | 258,369 | 144,644 | 114,000 | A | 計画通りに施設整備を実施できたこともあり、待機児童者数目標０人を達成できた。 | 1 |
| 3 | 2 | 2 | 子ども・子育て支援事業費 | 地域型給付事業（小規模保育事業所分）（実計） | 子ども課 | 令和３年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>小規模保育事業所　３園<br>（受益者：保育を必要とする児童及びその保護者）<br><br>手段<br>市内の小規模保育事業所へ保育の実施を委託し、委託費を支払う。<br><br>小規模保育事業所とは、子ども・子育て支援新制度に位置付けられた０～２歳児までの比較的小規模な保育事業所（定員６～１９人）のこと。<br>小規模保育事業は、市の認可事業である。<br><br>目的<br>保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、小規模保育事業所において保育を提供する。０～２歳児の保育の受け皿となっている。<br><br>成果<br>令和5年度は63人を受け入れた。 | 委託費を支払う市内小規模保育事業所の数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 0 | 4 | 100.0 | 147,661 | 124,635 | 141,959 | 0 | A | 小規模保育施設での保育提供を支援することにより、需要が高い0～2歳児の預け先を確保できた。 | 1 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 2 | 2 | 待機児童緊急対策事業費 | 保育士奨学金返済支援事業（実計） | 子ども課 | 令和４年度 | 令和８年度 | 一般会計 | 対象<br>市内保育所等に勤務する常勤保育士で、自ら奨学金返済をしている保育士で４月１日時点において資格取得から3年以内の者<br><br>手段<br>奨学金返済に要した費用の一部を補助<br><br>目的<br>就職後の経済的支援を行い、保育士の確保、定着及び離職防止を図る。<br><br>成果<br>16人に補助 | 補助対象保育士数 | 0 | 17 | 16 | 27 | 27 | 27 | 59.3 | 0 | 1,291 | 1,616 | 3,240 | C | 就職後の経済的支援を行い、保育士の確保、定着及び離職防止に寄与した。 | 1 |
| 3 | 2 | 2 | 子ども・子育て支援事業費 | こどもの安心・安全対策支援事業 | 子ども課 | 令和5年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>保育所、認定こども園、小規模保育施設<br>怡土中央台・引津　各２台、青空・るんびにこどもえん・一貴山　各１台<br><br>手段<br>安全装置の設置に関する費用を補助<br><br>目的<br>送迎用バスへの置き去りを防止する安全装置の導入費用を補助することで、子どもの安心・安全を守る<br><br>成果<br>５園に補助 | 安全装置を導入したバスの台数 | 0 | 0 | 7 | 8 | 0 | 7 | 87.5 | 0 | 0 | 1,225 | 0 | A | 安全装置の導入により、子どもの安心・安全に寄与した。 | 1 |
| 3 | 2 | 2 | その他児童福祉総務費 | こども計画策定ニーズ調査事業（実計） | 子ども課 | 令和５年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>①小中高生、小中高生の保護者、未就学児の保護者、若者（19～39歳）<br>②未就学児から大学生までのこども・若者、こどもに係る地域支援者等<br><br>手段<br>①アンケート調査<br>②アウトリーチ調査<br>専門業者に委託し、市民ニーズ把握のための調査を実施する。<br><br>目的<br>こどもや若者、子育て当事者などから、普段の生活や考えていることなどを聴取し、その結果をこども計画に反映する。<br><br>成果<br>各調査結果の集約、課題分析を行ったニーズ調査報告書の納品。 | 市民ニーズ調査の実施数 | — | — | 1 | 1 | — | 1 | 100.0 | — | — | 2,954 | — | A | ニーズ調査を実施することにより、こども計画策定のための多様な声を聴く機会を確保することに寄与した。 | 1 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 2 | 3 | 母子福祉費 | 母子家庭等高等職業訓練促進給付金等支給事業（経常） | 子育て支援課 | 平成２２年度 | 永年 | 一般会計 | 対象<br>市内に住所を有する母子家庭の母及び父子家庭の父で以下の全てに該当する者<br>①所得が児童扶養手当受給対象水準である。<br>②養成機関において６か月以上の期間修業予定である。<br>③就業または育児と修業の両立が困難と認められる。<br><br>手段<br>就職に有利な資格を取得するため６か月以上養成機関で修業する場合、修業する期間（48か月を上限）に毎月訓練促進費を、また修了後に修了支援金を支給する。<br><br>目的<br>就職に有利な資格を取得する修業期間中の生活費の負担軽減により修業を継続することができ自立を促進する。<br><br>成果<br>母子家庭の母及び父子家庭の父の就職及び生活の安定に資する資格の取得を容易にする。 | 支給対象者数 | 3 | 3 | 11 | 3 | 22 | 3 | 366.7 | 12,206 | 8,047 | 17,431 | 17,952 | A | 啓発・周知及び国の要件緩和により、事業利用者の増につながった。こどもの貧困及びその世代間連鎖の防止のため、必須となる事業である。 | 2 |
| 3 | 2 | 3 | 母子福祉費 | 自立支援教育訓練費支給事業（経常） | 子育て支援課 | 平成２２年度 | 永年 | 一般会計 | 対象<br>市内に住所を有する母子家庭の母及び父子家庭の父で以下の全てに該当する者<br>①所得が児童扶養手当受給対象水準である。<br>②この教育訓練を受けることが適職に付くために必要であると認められる。<br>③原則として過去にこの自立支援教育訓練給付金の支給を受けたことがない。<br><br>受講前に申請書及び必要書類（ハローワーク発行の支給要件照会票）を提出し、対象講座の指定（厚生労働省が指定する教育訓練講座）を受けることが必要。<br><br>手段<br>ひとり親家庭の母または父が指定の教育訓練講座（一般教育訓練、特定一般教育訓練、専門実践教育訓練）を受講することで、就職を容易にできる技能を獲得できるよう受講費の補助を行うもの。<br><br>目的<br>ひとり親家庭の母または父が就職につながる能力開発のために指定の教育訓練講座（一般教育訓練、特定一般教育訓練、専門実践教育訓練）を受講し、修了した場合に受講料を助成し、安定した就職を支援する。<br><br>成果<br>母子家庭の母及び父子家庭の父の就職及び生活の安定に資する資格の取得から自立を促進する。 | 支給対象者数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 100.0 | 103 | 239 | 73 | 1,934 | A | こどもの貧困及びその世代間連鎖の防止のため、必須となる事業である。 | 2 |
| 3 | 2 | 3 | 母子福祉費 | 母子家庭等就業・自立支援事業 | 子育て支援課 | 平成２９年度 | 永年 | 一般会計 | 対象<br>市内に住所を有するひとり親世帯等の親で無職及び転職を検討している者<br><br>手段<br>相談を受けるひとり親就業支援員が面談や電話等で受け付けた後、自立に向けたサポートを実施。<br><br>目的<br>ひとり親家庭等の親の就業をより効果的に促進する。<br><br>成果<br>ひとり親家庭等の親の就労又は転職による収入増加による、家庭生活の安定。 | 就職者数 | 18 | 7 | 13 | 15 | 15 | 15 | 86.7 | 2,798 | 2,421 | 2,266 | 2,939 | A | コロナの分類引き下げ後、事業利用者の増につながった。こどもの貧困及びその世代間連鎖の防止のため、必須となる事業である。 | 2 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 2 | 3 | 子ども・子育て支援事業費 | 保育所等ＩＣＴ化推進事業（実計） | 子ども課 | 令和2年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>保育所、幼保連携型認定こども園、小規模保育事業所<br><br>手段<br>ＩＣＴ化を推進するためのシステム導入や、通訳や翻訳のための機器の導入に対する補助<br><br>目的<br>保育所等における業務のＩＣＴ化を推進することにより、保育士の業務負担を図り、保育士が働きやすい環境を整備することを目的とする。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>システム導入１園 | 補助金交付件数 | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 3 | 100.0 | 0 | 897 | 675 | 0 | A | 保育所等における業務のＩＣＴ化を推進することにより、保育士の業務負担を図り、保育士が働きやすい環境を整備することに寄与した。 | 1 |
| 3 | 2 | 6 | 放課後児童クラブ整備事業費 | （仮称）加布里２児童クラブ整備事業（実計） | 子ども課・教育総務課 | 令和5年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>加布里学校に通う児童でその保護者が就労等により昼間家庭にいない者<br><br>手段<br>加布里小学校の余裕教室を改修し、新たな児童クラブを整備する。<br><br>目的<br>新たな児童クラブを新設することで入所不承諾を解消する。<br><br>成果<br>・共働き世帯が安心して子どもを預けて働くことができる環境をつくる。<br>・加布里放課後児童クラブの入所不承諾を解消する。 | 加布里放課後児童クラブ入所不承諾者（翌年当初）の人数 | 0 | 9 | 3 | 9 | 0 | 0 | 100.0 | － | － | 10,342 | 0 | A | 新たな受け皿の創設により、加布里校区における児童クラブ入所需要を全て賄うことができた。 | 3 |
| 3 | 2 | 6 | 放課後児童クラブ整備事業費 | 放課後児童クラブ大規模改修事業（実計）（ＡＰ） | 子ども課 | 令和3年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>建築後概ね２０年を経過した子ども課が所管する児童クラブ専用施設<br><br>手段<br>施設の屋根、外壁、水回り、床、壁クロス、空調等の劣化部分を修繕する。<br><br>目的<br>施設の長寿命化を図る。<br><br>成果<br>入所児童が快適で安全な保育環境をつくる。<br>令和５年度は可也１、雷山の児童クラブについて屋根、外壁等の大規模改修を行った。 | 築２０年を経過した児童クラブで、大規模改修を行った施設の数 | 4 | 5 | 2 | 2 | 0 | 11 | 100.0 | 21,446 | 29,425 | 21,274 | 22,362 | A | 児童クラブの長寿命化と合わせて、保育環境の充実に寄与した。 | 3 |

■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策１：子育ち・親育ちの支援の充実　　施策② 妊娠から出産・子育ての切れ目ない支援

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】<br>施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 子育て支援課 | 子ども教育部 | 子ども課 | 6 | 112,800 | 4 | 子ども家庭相談のうち、児童虐待相談の割合（福祉行政報告例） | % | 39.0 | 48.7 | 39.0 | 39.0 | 全国での割合を下回る | 0.0% | 0.0% | 0.0% | E | 施策に対する各事務事業は確実に遂行しており、妊娠から出産・子育ての切れ目のない支援に有効で成果があったと考えるが、各指標の達成度及び進捗率に反映が見られない状況にある。<br>指標１の虐待相談の割合については、地域や関係先等の意識向上により、些細なことも相談し虐待を未然に防ぐことの現れであり、必ずしも相談件数が少ないことが良いわけではない。相談件数は虐待そのものの件数とイコールではない。<br>指標２のお断り件数については、コロナの５類移行や県の病児病後児保育の無償化事業により、需要が増えたことから目標未達成となっている。<br>指標３については、安心して子どもを育てられる環境の確保は、産後サービス、乳幼児支援サービス、保育所等サービス、青少年健全育成の取組等のソフト事業から公園整備等のハード事業まで幅広い事業により環境が整えられることから、統括課及び関係課の事務事業のみが市民満足度の上昇に反映できるものではないと考える。<br>以上から、施策に関する目標達成指標の達成度（年度）及び進捗率が0%となっており、総合評価が「E」となっているが、本施策は市の未来を創る施策であり、全ての妊婦、子育て世帯、子どもに寄り添い伴走するため６年度以降も継続して事業を行っていく。 | 成果上昇、コスト維持 |
| | | | | | | 5 | 病児・病後児施設の満室断わり数 | 件 | 4 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% | | | | |
| | | | | | | 6 | 安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思う市民の割合（市民満足度調査） | % | 41.0 | 27.5 | 43.0 | 44.0 | 45.0 | 64% | 0.0% | | | | |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 2 | 1 | 重層的支援体制整備事業費 | 子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業（経常） | 子育て支援課 | 令和2年度 | － | 一般会計 | 対象<br>すべての妊産婦（産婦：産後１年以内）、乳幼児（就学前）とその保護者（特に３歳までの子育て期について重点を置く。）<br><br>手段<br>妊産婦・乳幼児情報のデータを一元化し、母子保健型と基本型が連携して支援内容を検討。支援プランを作成し、必要な情報提供・助言を行う。<br><br>目的<br>妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を行う「包括的な支援」を通じて、妊産婦及び乳幼児並びにその保護者の生活の質の改善・向上や胎児・乳児・幼児にとって良好な生育環境の実現・維持を図る。<br><br>成果<br>【令和5年度実績】<br>相談対応　来所相談　49件、電話相談　298件、合計　347件<br>訪問　　乳児家庭全戸訪問　628件、養育支援訪問　95件、転入者家庭訪問　141件、合計　864件 | 支援プラン作成対象者の育児能力が向上した割合 | 83.0 | 83.0 | 83.5 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 83.5 | 2,530 | 3,149 | 6,129 | 6,724 | A | 関係職員間における連携した支援の充実及び各関係機関との連携強化が図られている。 | 6 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 1 | 2 | 重層的支援体制整備事業費 | 子育て世代包括支援センター（母子保健型）運営事業 | 子育て支援課 | 令和2年度 | － | 一般会計 | 対象<br>すべての妊産婦（産婦：産後１年以内）、乳幼児（就学前）とその保護者<br><br>手段<br>母子健康手帳交付等の機会を通じ保健師と助産師が妊産婦・乳幼児等の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、支援プランを策定し必要な情報提供・助言・保健指導を行う。<br>〇母子健康手帳子育て応援アプリ…妊娠・出産・子育てに関する情報発信。子どもの身長体重のグラフ化や予防接種スケジューラー機能。<br><br>目的<br>妊娠・出産・産後から子育て期にわたるまでの切れ目のない相談支援及び妊産婦のサポートをおこなう。<br><br>成果<br>支援を必要とする妊産婦の問題の改善もしくは解消<br>【令和5年度実績】<br>母子健康手帳交付数：597人、妊婦転入者数（面談）59人<br>要支援妊婦プラン作成数：175人<br>作成率：100% | 要支援者の支援プランの作成率 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 8,448 | 8,563 | 8,871 | 10,375 | A | 関係職員間における連携した支援の充実及び各関係機関との連携強化が図られている。 | 6 |
| 4 | 1 | 2 | 母子保健事業費 | 新生児聴覚検査助成事業（実計） | 子育て支援課 | 令和4年度 | 令和6年度 | 一般会計 | 対象<br>糸島市内に住民票を有する新生児<br><br>手段<br>・生後１か月未満の新生児を対象に、産科医療機関において概ね１週間以内に受検する聴覚検査費用を助成。<br>・新生児聴覚検査２種類のうち１種類を受検。<br>・産科医療機関委託または保護者申請による償還払い。<br><br>目的<br>・先天性難聴の早期発見・支援を行い、児童の言語発達やコミュニケーションの形成、情緒、社会性の健やかな発達に寄与する。<br>・検査に係る経済的負担軽減<br><br>成果<br>・先天性難聴の早期発見及び支援の充実<br>・新生児聴覚検査受検率の向上<br>【令和5年度実績】<br>・償還払い件数　132件<br>・新生児聴覚検査受検率（4か月児健診時把握分）99.7% | 新生児聴覚検査受検率 | 97.6 | 97.5 | 99.7 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 99.7 | ― | 2,157 | 3,087 | 4,630 | A | 全妊婦へ助成事業を周知し助成券交付したことにより、新生児聴覚検査の啓発、受検勧奨につながった。今後、受検率向上に向けた啓発強化及び支援の充実を図る必要がある。 | 6 |
| 4 | 1 | 2 | 母子保健事業費 | 母子保健事業（経常） | 子育て支援課 | － | － | 一般会計 | 対象<br>市内に住民票を有する妊産婦及び乳幼児とその保護者<br><br>手段<br>〇乳幼児健康診査（４か月児、10か月児、１歳６か月児、３歳児）<br>〇離乳食教室<br>〇育児相談（のびのび相談　月1回）<br>〇発達支援相談（こころ月１回、からだ　隔月１回）<br>〇心理相談（週１回）<br>〇発達支援・育児支援教室（わんぱく広場　週１回）<br>〇妊婦健康診査（補助14回分）、里帰り等妊婦健康診査助成<br><br>目的<br>母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図る。<br><br>成果<br>乳幼児健診や専門職による相談事業を通して、発達に特性がある子どもや支援を必要とする子どもとその家庭の早期発見を行い、関係機関との連携により早期支援を図った。<br>【令和5年度実績】<br>〇乳幼児健康診査受診数及び受診率<br>４か月児健診　632人　100.2%、10か月児健診　690人　96.2%、<br>１歳６か月児健診　715人　97.5%、３歳児健診　840人　99.5%<br>〇発達支援相談延べ人数<br>子どものこころ発達相談　33人、子どものからだ発達相談　10人、心理相談　65人<br>〇わんぱく広場参加者数<br>実人数　37人、延人数　178人 | 乳幼児健康診査受診率（平均） | 99.2 | 98.8 | 98.4 | 99.5 | 99.5 | 100.0 | 98.9 | 88,830 | 88,978 | 89,202 | 106,445 | A | 乳幼児健診は高い受診率を維持できており、また、早期支援のため各種事業展開が図れている。<br>医療機関や関係機関との連携を強化し、早期支援の更なる充実を図る必要がある。 | 6 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 1 | 2 | 母子保健事業費 | 産婦健康診査助成事業（実計） | 子育て支援課 | 令和5年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象<br>産後2週間、産後1か月等、出産後間もない時期の産婦<br><br>手段<br>○産後2週間、1か月の産婦健康診査に係る費用助成<br>○産婦健康診査項目<br>・健康状態・育児環境の把握<br>・体重・血圧測定、尿検査<br>・産婦の精神状況に応じたツールを用いたアセスメント<br>○対象者1人につき2回以内（上限額5,000円/回）<br><br>目的<br>産後の体調不良や精神的不安定になりやすい産婦への支援体制を充実させ、産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図る。<br><br>成果<br>【令和5年度実績】令和5年7月開始<br>産婦健康診査利用者数　433人（延べ796回）<br>受診率（%）89.6% | 産婦健康診査受診率（%） | - | - | 89.6 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 89.6 | - | - | 4,107 | 7,372 | A | 支援を必要とする産婦の早期発見につながった。また、各関係機関との連携強化が図られている。 | 6 |
| 4 | 1 | 2 | 母子保健事業費 | 産後ケア（アウトリーチ型）事業（実計） | 子育て支援課 | 令和5年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象<br>出産後1年以内の母子で、支援が必要な者<br><br>手段<br>○助産師等の医療専門職による訪問指導及び支援を行う。<br>・母親の身体的ケア（保健指導・栄養指導）・母親の心理的ケア<br>・適切な授乳ケア・育児についての具体的な指導及び相談対応<br>○対象者把握及び支援プラン作成は、子育て世代包括支援センターで実施<br>○対象者1人につき5回以内（自己負担額1,000円/回）<br><br>目的<br>より安心して子どもを生み、子育てできるよう、母親の身体的な回復や心理的な安定、セルフケア能力の向上を図り、母子とその家族が健やかな育児支援を受けられる環境を整える。<br><br>成果<br>【令和5年度実績】<br>産後ケア（アウトリーチ型）事業利用者実人数　65人（延べ126回） | 産後ケア（アウトリーチ型）事業利用実人数（累計） | - | - | 65 | 50 | 70 | 200 | 130.0 | - | - | 1,404 | 4,096 | A | 要支援妊婦の把握に努め、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援につながった。また、各関係機関との連携強化が図られている。 | 6 |

■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策２：保育・学校教育の充実　　施策①：家庭や地域と連携した教育の充実

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】<br>施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 学校教育課 | 子ども教育部 | 子ども課<br>生涯学習課 | 3 | 3,806 | 7 | 学校と保護者、地域住民とで、学校の課題や目標を共有し協働・連携の取組を行った学校数（コミュニティ・スクール進捗状況評価結果） | 校 | 15 | 22 | 22 | 22 | 22 | 100% | 100.0% | 100.0% | A | 事務事業は順調に進捗している。<br>また、コミュニティスクールの活動は完全に定着したものと考えられる。<br>今後は学校・家庭・地域が連携した教育活動を更に充実させるため、糸島市学校運営協議会推進委員会の設置や安全、防災、健康など具体的な視点をもった事業や行事の展開などを推進していく必要がある。<br>また、コミュニティスクールの推進に加え、いとしま学やSDGs教育、起業家教育等の探求型学習を通じて、地域との交流を深めていきたい。 | 成果上昇、コスト増大 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 1 | 7 | 九州大学連携推進費 | 九大寺子屋事業（実計） | 学研都市づくり課 | 平成30年度 | 令和８年度 | 一般会計 | 対象<br>糸島市内の児童（小学校５年生）<br><br>手段<br>糸島市内の小学校に九州大学学生が訪れ、自らの研究内容について45分の授業を実施し、児童と交流する。<br><br>目的<br>九大生が普段行っている勉強や研究を児童に分かりやすく教え、交流することで、学習意欲の向上や学ぶことの面白さ、楽しさ、九州大学や学生への憧れを醸成する。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>・市内小学校16校で実施。<br>・16校全31クラスに対して授業を展開。<br>・授業は、50コマ実施（2クラスで2回実施した際「４」とカウント）<br>・協力九大生は30人。<br>【令和４年度実績】<br>・市内小学校15校で実施。<br>・15校全32クラスに対して授業を展開。<br>・授業は、44コマ実施<br>・協力九大生は30人。<br>【令和３年度実績】<br>・市内小学校13校で実施。（当初は14校実施予定。減少はコロナによる影響。）<br>・13校全26クラスに対して41コマの授業を展開。<br>・協力九大生は25人。 | 九大寺子屋の実施校（累計） | 36 | 51 | 67 | 67 | 83 | 114 | 100 | 689 | 846 | 1,007 | 1,783 | A | 事業効果が認められ、全小学校で実施されるようになった。学校教育の充実（学習意欲の向上）に必要な事業である。 | 7 |
| 10 | 1 | 2 | 学力向上推進事業費 | 学習習慣定着事業 | 学校教育課 | 平成28年度 | 永年 | 一般会計 | 対象<br>小中学生<br><br>手段<br>家庭学習の充実をはじめとした学習習慣の定着を図るため、家庭での学習ができにくい児童生徒への支援の具体化を図り、学力格差を改善することを目的として以下の内容で実施する。<br>●放課後宿題教室<br>　家庭学習等の習慣が未定着の児童生徒への支援として、教員免許を有する外部講師や地域人材を活用し、学校ごとに放課後宿題教室を開催する。<br>●学習支援事業<br>　家庭学習等の習慣が未定着な児童生徒に、分かる授業をとおして学習意欲を高めてもらうことを目的に取り組み、少人数での習熟度別学習や個別学習を推進する。<br><br>目的<br>児童生徒の学力向上<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>小学校14校（前原、波多江、長糸、雷山、怡土、前原南、南風、東風、深江、福吉、一貴山、桜野、可也、姫島）、中学校６校（前原、前原東、前原西、二丈、福吉、志摩）で実施。 | 放課後宿題教室、学習支援事業を実施した学校数 | - | 14 | 20 | 22 | 22 | 22 | 91 | 551 | 843 | 1,721 | 2,772 | A | 地域人材を中心とするサポートティーチャーを活用し、児童生徒の学力課題に応じた個別指導等の学習支援が実施できた。 | 7 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 1 | 2 | 開かれた学校づくり事業費 | コミュニティスクール推進事業 | 学校教育課 | － | 永年 | 一般会計 | 対象<br>小中学校児童生徒及び保護者、学校、地域住民<br><br>手段<br>全小中学校に学校運営協議会を設置し、学校長が委嘱する委員により、学校運営に対する評価等を行う。各学校15人以内。委員数及び開催回数は、学校が決定する。会議出席時の費用弁償のみ（2,000円）を支給。<br><br>目的<br>学校と家庭・地域との連携を図り、市民協働による学校づくりを行う。<br><br>成果<br>学校運営協議会で話し合うことによる教育課題や目標の共有化、家庭・地域による学校支援の増加、学校評価の充実等の面で成果が認められている。 | 学校運営協議会を開催した学校数 | － | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 100.0 | 446 | 1,038 | 1,078 | 2,700 | A | 全小中学校で設置している学校運営協議会において、家庭や地域における課題を学校と共有するとともに、その解決を図る地域学校協働活動を推進できた。 | 7 |

■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策２：保育・学校教育の充実　　施策②：児童・生徒の学力や体力の向上

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】<br>施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 学校教育課 | 子ども教育部 | 教育総務課 | 7 | 80,171 | 8 | 学力テストで、「概ね到達」以上の児童生徒の割合（市の学力テストの到達度評価で、３段階の２以上、5段階の３以上） | % | 76.7 | 71.5 | 82.0 | 84.0 | 85.0 | 87% | 0.0% | 51.5% | C | 施策指標の達成度が「C」という状況に対して、<br>●児童生徒の学力については、「全国学力・学習状況調査」や「福岡県学力調査」では、国語、算数（数学）が国・県の平均を上回っているものの、英語は国平均を下回っている。また、児童生徒の学力の2極化が懸念される。このため、調査結果を分析、課題を抽出して、学力向上推進委員会の開催や糸島市教育センターにおける授業力向上研修、各学校における校内研修、教科等研究会の活動、特に英語については、一人一台端末を活用した補習学習を実施するなどして改善を図っている。<br>●ICT活用については、GIGAスクール構想による一人一台端末の配布はすでに完了しており、３か年をかけての普通教室への超短焦点プロジェクター設置は、令和６年度ですべて完了する等、周辺環境の整備は着実に進んでいる。教員に対する支援を目的に配置しているICT支援員も活発に活動しており、今後のICT活用の進捗は大きな改善が期待できる。<br>●英検取得については、受験意欲を高め、受験しやすい環境を整えるため、令和６年度から受検の補助対象や補助率を拡大した。<br>●児童生徒の運動習慣については、学校における体育科・保健体育科の授業改善によって、児童生徒の体力・運動能力を向上を図り、「運動やスポーツが好き」、「運動やスポーツは大切」という意識を向上させることが先決と考える。<br><br>以上をもって、児童生徒の学校生活を充実させていくとともに、いとしま学やSDGs教育、起業家教育等の探求型学習、コミュニティスクール等による地域との交流を通じて、「自分は（地域等）の役に立っている」という自己有用感の認識・獲得を促し、児童生徒の自己肯定感の向上を図っていく。 | 成果上昇、コスト増大 |
| | | | | | | 9 | ほぼ毎日、コンピュータなどのICTを授業で活用している児童生徒の割合（学習状況調査児童生徒質問紙で「活用した」と回答） | % | 3.7 | 57.4 | 100.0 | 100.0 | 100 | 57% | 55.8% | | | | |
| | | | | | | 10 | 英検３級以上を取得している中学３年生の割合 | % | 23.9 | 24.1 | 30.0 | 33.0 | 35.0 | 80% | 1.8% | | | | |
| | | | | | | 11 | 「自分には良いところがある」と思っている児童生徒の割合（学校状況調査で、４段階の３以上） | % | 74.5 | 81.5 | 76.0 | 78.0 | 80.0 | 107% | 100.0% | | | | |
| | | | | | | 12 | 運動部やスポーツクラブ以外で運動することがある児童生徒の割合（運動習慣等調査で、「よくある」「ときどきある」と回答） | % | 71.3 | 83.2 | 76.0 | 78.0 | 80.0 | 109% | 100.0% | | | | |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 1 | 2 | 情報教育推進事業費 | ＩＣＴ支援員配置事業（実計） | 学校教育課 | 令和3年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>小中学校児童生徒及び教員<br><br>手段<br>会計年度任用職員を４人任用し、各学校を巡回し教職員に対する研修や学習支援等を行う。<br>【業務内容】<br>①授業支援（授業計画の作成支援、操作・活用支援）<br>②校内研修（研修実施及び企画支援）<br>③環境整備（日常的メンテナンス支援、ネットワークトラブル対応）<br>④活用支援による教員の教材準備に係る時間の削減及び効率化<br><br>目的<br>一人一台端末や高速通信ネットワークの有効活用のため、教員のＩＣＴ指導力育成及びメンテナンス・トラブル対応、児童生徒の「情報活用能力」向上に向けた取り組みを推進する。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>ＩＣＴ関連の知識に詳しい退職教員２人を教育委員会に追加配置した。 | コンピューター等を授業で活用した中学３年生の割合 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 5,544 | 5,239 | 10,586 | 12,743 | A | 一人一台端末の活用場面も増加し、学校現場からは更なる支援員増員の要望も多く上がっており、支援員の必要性は非常に高い。 | 9 |

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 1 | 2 | 英語教育推進事業費 | 英語教育充実事業（実計） | 学校教育課 | 令和3年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>高学年児童<br><br>手段<br>小学校高学年の外国語科（英語）の授業において、一人一台のタブレット端末を活用した外国人講師とのオンライン英会話学習を定期的に実施し、ネイティブな英語に触れることで、語学力向上への意欲と興味を向上させる。<br>児童や学校との連携実績のある事業者への業務委託を行い、より効果的に進める。<br>・児童３人１グループでスカイプを利用し、年４回の英会話学習を実施。<br>（５・６年生対象。２学年、673グループ程度を想定）<br><br>目的<br>パソコンの画面を介した外国人講師とのオンライン英会話を定期的に実施することにより、英語力の向上とグローバル社会に対応する基礎的なコミュニケーション能力の育成を図る。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>小学校５、６年において各グループ４回（４５分/回）のオンライン英会話を実施 | 外国人講師と定期的に英会話を実施した小学校数 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 100.0 | 3,879 | 3,957 | 3,974 | - | A | 小学校の英語教育では、日常場面における英会話を想定したコミュニケーション力の育成を目的としており、授業で学んだ英語を外国人相手に実際に活用する機会を定期的に設けることができた。 | 10 |
| 10 | 1 | 2 | 学力向上推進事業費 | 学力向上事業 | 学校教育課 | 平成28年度 | 永年 | 一般会計 | 対象<br>中学生<br><br>手段<br>九州大学伊都キャンパス及び九州大学生を活用した伊都塾の開催。<br>西南学院大学との連携事業で、西南学院大学キャンパスを利用したイングリッシュキャンプの開催。<br><br>目的<br>伊都塾は、学力向上と向学心の向上。<br>イングリッシュキャンプは、ネイティブな英語体験と、自己表現力の向上、海外、大学へのあこがれによる学力向上、向学心。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>伊都塾は８月に２日間実施し、中学生204人（延べ人数）が参加した。<br>イングリッシュキャンプは、11月に２日間実施し、中学生13人が参加した。 | 伊都塾、イングリッシュキャンプの開催回数 | - | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 100.0 | 150 | 436 | 630 | 617 | A | 大学で学ぶことへの憧れや興味を抱かせるといった効果が見られた。また、イングリッシュキャンプでの生徒のアンケートによれば、英語の使用や英語習得に対する意欲の向上が見られた。 | 8 |
| 10 | 1 | 2 | 英語教育推進事業費 | 中学校英語検定推進事業 | 学校教育課 | - | 永年 | 一般会計 | 対象<br>中学１～３年生及びその保護者<br><br>手段<br>実用英語検定試験受験申込者（４級以上）に対し、２回を上限に受験料の１部（1,000円）の補助を行う。<br><br>目的<br>英語検定試験による学習意欲の向上、達成による自己肯定感の向上。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度（12月時点）は、中学１年４級以上の受検者が40人（学年の4.2%）、中学２年４級以上の受検者が133人（学年の13.5%）、中学３年４級以上の受検者が226人（学年の23.1%）、のべ399人が事業の補助を受けて受検している。 | 本事業の補助を受けて英語検定４級以上に挑戦した中学３年生生徒の割合 | 28.6 | 26.5 | 26.0 | 30.0 | 40.0 | 40.0 | 86.7 | 521 | 596 | 600 | 1,994 | A | この事業で、英語検定にチャレンジすることにより、目標を達成する経験や学習意欲の向上、基礎基本の定着に取り組むきっかけになっている。 | 10 |

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 1 | 2 | 情報教育推進事業費 | 学習教材ソフトウェア導入事業（実計） | 学校教育課 | 令和４年度 | 令和６年度 | 一般会計 | 対象<br>児童生徒、教員<br><br>手段<br>一人一台のタブレット端末の有効利用のためにソフトを導入する。<br><br>目的<br>学力の向上、学習習慣の定着<br><br>成果<br>一人一台のタブレット端末を用いた持ち帰り学習の定着が進んでいる。 | コンピューター等を授業で活用した中学３年生の割合 | － | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | － | 38,739 | 39,463 | 40,187 | A | このソフトの導入で、効率的で効果的な授業や、持ち帰り学習の実施による児童生徒の学力向上と教職員の負担軽減に寄与するものと考える。 | 9 |
| 10 | 1 | 2 | 情報教育推進事業費 | 小中学校プロジェクター整備事業（実計） | 教育総務課 | 令和４年度 | 令和１１年度 | 一般会計 | 対象<br>小中学生<br><br>手段<br>普通教室に壁掛けモデルの超短焦点プロジェクターと関連備品を導入する。<br><br>目的<br>小中学校のＩＣＴ教育環境の向上。<br><br>成果<br>全小学校の５・６年生の教室に設置。 | 全普通教室に壁掛けプロジェクターを設置している小中学校 | 0 | 6 | 6 | 6 | 22 | 22 | 100.0 | 0 | 5,118 | 13,360 | 24,446 | A | 計画通りに設置しており、全小中学校が同様の環境で学習できるよう整備していく。 | 9 |
| 10 | 3 | 1 | 教材・備品等購入事業費 | 中学校プログラミング教育教材購入事業（実計） | 学校教育課 | 令和５年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>中学生<br><br>手段<br>授業で使用する一人一台端末で使用できるプログラミングソフトを購入し授業環境を整備する。<br><br>目的<br>一人一台端末を活用し、技術科の授業が行われる環境が整う。<br><br>成果<br>Windows端末のリースをやめることで経常経費の節減が図れた。 | 一人一台端末でプログラミング学習ができるようになった中学校の数 | － | － | 6 | 6 | － | 6 | 100.0 | － | － | 11,558 | － | A | 令和５年度で完了。中学校において、一人一台端末を活用し、技術科の授業で活用できる環境を整備することができた。 | 9 |

■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策２：保育・学校教育の充実　　施策③：特別支援教育の充実と楽しい学校生活の創出

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】<br>施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 学校教育課 | 子ども教育部 | － | 4 | 35,161 | 13 | 発達に関する相談や通級による指導を受けることができる箇所数 | 箇所 | 10 | 13 | 11.0 | 12.0 | 12 | 118% | 100.0% | 79.7% | B | 施策指標の達成度は「B」であるが、平均達成率は79.7%であり、ほぼ順調に進捗していると判断する。<br>令和６年度からは、既存の専門的な支援機能を集約し、糸島市教育支援センターを設置した。<br>本センターを核として、今後も特別な配慮を要する児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基本的生活習慣の改善等のための相談、支援及び指導を充実させていきたい。 | 成果上昇、コスト増大 |
| | | | | | | 14 | 不登校対応指導の結果、登校する又はできるようになった児童生徒の割合 | % | 30.5 | 57.2 | 40.0 | 45.0 | 50.0 | 143% | 100.0% | | | | |
| | | | | | | 15 | Q-U調査による学校生活への満足度 | % | 54.9 | 56.9 | 59.0 | 60.0 | 60.0 | 96% | 39.2% | | | | |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 1 | 2 | 生徒指導充実事業費 | 学校問題解決支援事業 | 学校教育課 | 平成27年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>児童生徒及びその保護者<br><br>手段<br>不登校や保護者の養育の在り方に関する諸課題等について、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士もしくは精神保健福祉士）の会計年度任用職員（旧嘱託員）を２人任用、学校へ派遣し、学校の諸問題の解決を図る。<br><br>目的<br>児童生徒の不登校や保護者に関する問題等小中学生の様々な諸問題の解決を図る。<br>また、このことにより、教員が児童生徒の教育活動に専念できる。<br><br>成果<br>【令和５年度実績　※１月末まで】（カッコ内令和４年度）<br>学校等におけるケース会議や、本人や保護者に対する面談・家庭訪問、関係機関への対応で652回（713）、研修や出張、他課との会議が77回（107）であり、対応総時間数は1,152時間（1,261）である。 | 全小中学校での事業の実施（事業実施校数） | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 100.0 | 7,481 | 6,506 | 6,618 | 7,634 | A | 近年、子どもの問題行動の背景に保護者の養育の問題が影響している事例が増えており、教師だけの対応では解決が困難な状況にある。そのため、家庭の相談に応じて適切な助言を学校に与えるSSWの機能が益々必要となっており、このことに応じる事業である。 | 14 |
| 10 | 1 | 2 | 生徒指導充実事業費 | 不登校対応指導員配置事業（実計） | 学校教育課 | 平成30年度 | 令和6年度 | 一般会計 | 対象<br>小中学校児童生徒及びその保護者、関係学校教員<br><br>手段<br>教員ＯＢ等、専門的な知識をもつ指導員を雇用し、前原、二丈、志摩、全地域の中学校と必要性の高い小学校に合計８人配置し、不登校（兆候）にある児童生徒数への対応や、学校で取り組む学校復帰に向けた活動を支援する。<br>令和４年度から４人増員し、８人体制とする。<br>【業務】<br>①不登校児童生徒の家庭訪問による状況確認・登校刺激<br>②校内適応指導教室における不登校児童生徒の学習支援<br>③不登校児童生徒の学校外施設での教育相談・学習支援等<br><br>目的<br>不登校からの復帰支援を、早期かつ小中連携で行うことで、より効果的な支援を実現する。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>①前原中学校、②前原東中学校、③前原西中学校、④志摩中学校に１人ずつ配置、⑤二丈中・福吉中学校、⑥前原小・加布里小学校、⑦前原南小・南風小学校、⑧東風小・波多江小学校に兼務で１人ずつ配置（計８人） | 指導員配置中学校区 | 3 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 100.0 | 11,812 | 18,403 | 21,233 | 25,016 | A | 全国不登校数の割合は急増しているが、本市は微増である。このことは、校内において、組織的に対応したり、行事を工夫して実施したりするなどして、新規の不登校数の減少に努めた結果であると考えられる。 | 14 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 1 | 2 | 生徒指導充実事業費 | 学校生活支援事業（実計） | 学校教育課 | 令和2年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象<br>欠席が長期にわたる不登校児童生徒の中でも、市の教育支援室や民間のフリースクールにも通うこともできず、家庭に閉じこもりがちな児童生徒。<br><br>手段<br>家庭に閉じこもりがちな児童生徒がまずは外に出られるための「居場所」をつくり、市の教育支援室や校内適応指導教室へ通えるよう、臨床心理士の支援を受けながら不登校児童生徒の心理状況を改善する。<br>ノウハウを持つ九州大学に運営を委託する形で学校外の「居場所」（糸島市フリースペース）を設置する。<br>令和３年の８月からは、保護者面接（相談）も実施。<br><br>目的<br>引きこもり、不登校者への登校刺激。家庭に閉じこもりがちな者を引きこもりに発展させない。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>子どもの居場所48日開催（基本的に水曜日）、利用した児童生徒数のべ417人<br>保護者面接317回実施（基本的に木曜日） | 居場所のべ利用者数 | 124 | 323 | 417 | 300 | 300 | 300 | 139.0 | 2,833 | 4,357 | 4,645 | 4,772 | A | 不登校児童生徒が年々増加傾向にあるとともに、大人の引きこもりも社会的問題となってきており、義務教育段階での対応を行うために重要な施策と考える。 | 14 |
| 10 | 1 | 2 | 事務局費 | 特別支援教育専門員配置事業 | 学校教育課 | 平成31年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>児童生徒及びその保護者、教員<br><br>手段<br>特別支援教育の教員免許状を所有し、かつ特別支援教育に関する研究機関での勤務経験がある者を特別支援教育専門員として１名雇用する。<br>（業務内容）<br>①教員や特別支援教育支援員への研修会実施<br>②県立特別支援学校、九州大学（研究機関）との連携<br>③市長部局、福祉施設との連携<br><br>目的<br>特別支援教育の様々なニーズに対応できるよう関係機関との連携を図り、教員や特別支援教育支援員への専門研修・指導助言等を行う。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>教員等に対し、教育センター及び学校で、特別支援教育における専門的指導助言や研修を行った。 | 指導助言を行った学校数 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 100.0 | 3,439 | 2,365 | 2,665 | 3,160 | A | 各学校の特別支援学級担任や通常学級の担任に対して、研修を実施し、特別支援教育の推進ができている。 | 13 |

■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策2：保育・学校教育の充実　　施策④：安全・安心に学習できる教育環境の整備

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】<br>施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 教育総務課 | 子ども教育部 | 子ども課<br>学校教育課 | 19 | 12,780,961 | 16 | 大規模改造実施（着手を含む）校 | 校 | 2 | 9 | 9 | 10 | 11 | 100% | 77.8% | 49.8% | C | 学校施設の更新・整備については、糸島市公共施設等総合管理計画第１期アクションプランに事業を計上し、計画的に実施しており、順調に進捗している。<br>また、教職員の超過勤務時間は、「糸島市教職員の働き方改革取組指針」に基づいた取組により、目標値には達していないものの削減を続けることができている。特に、令和５年５月から、コロナウイルス感染症が５類感染症に移行し、学校活動が通常通りとなった後も、削減できていることは大いに評価できる。今後は令和６年度から運用開始した校務支援システムの効果発揮、中学校部活動の地域移行についての研究・課題整理等を行い、さらなる進捗を図りたい。<br>一方、子どもを生み育てる環境に対する市民満足度の低さが、施策指標の達成度を引き下げている。前述した学校施設の更新・改善は着実に進めており、また、例えば、就学前児童については保育園等の待機児童を大幅に解消する等、事業展開そのものは他自治体と比較して決して劣るものではない。しかしながら、公園整備や地域における青少年の健全育成活動など、財政面や地域力の低下等、解決困難な要因が影響していると分析する。 | 成果上昇、コスト増大 |
| | | | | | | 17 | トイレ洋式化率 | % | 48.4 | 68.7 | 64.8 | 67.3 | 75 | 106% | 76.3% | | | | |
| | | | | | | 18 | 1月当たりの超過勤務時間が80時間を超えている教職員数 | 人 | 269 | 148 | 92.0 | 47.0 | 0 | 68.4% | 45.0% | | | | |
| | | | | | | 19 | 安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思う市民の割合（市民満足度調査）【再掲】 | % | 41.0 | 27.5 | 43.0 | 44.0 | 45.0 | 64% | 0.0% | | | | |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 1 | 2 | 校務情報化推進事業費 | 教育情報システム整備事業（実計） | 教育総務課 | 令和５年度 | 令和10年度 | 一般会計 | 対象<br>教職員<br><br>手段<br>クラウドを活用した学校間を結ぶ高度なセキュリティ対策を講じたネットワークを構築し、新たに校務支援システムを導入する。<br><br>目的<br>セキュリティ対策の高度化及び教職員の業務効率化を図る。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>校務情報ネットワークの構築、統合型校務支援システムの導入 | クラウド方式のネットワークを導入している学校数 | － | － | 22 | 22 | 22 | 22 | 100.0 | － | － | 334,071 | 64,167 | A | 市内の全小中学校にネットワークの構築及び校務支援システムの導入を計画どおりに実施した。 | 18 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校改修事業費 | 小学校施設改修事業（実計） | 教育総務課 | － | 永年 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>糸島市立小学校の小規模営繕工事を行う。<br>校舎、体育館、プール等の建築物の改修工事及びグラウンド、校庭、屋外教育施設等の環境整備を行う。<br>一定年数以上経過した施設（建物）については、維持整備費用が必要である。<br>定期的な維持整備工事を実施することにより、施設そのものの寿命を延ばすことができ、結果的に経費の節減につながる。<br>３年に１度、施設の危険個所点検を実施する。<br>実施年度…平成27、30、令和３、６、９<br><br>目的<br>市内小学校の小規模営繕工事を実施し、事故防止、施設の長寿命化を図る。３年毎に専門家による施設の調査・点検を実施し、危険箇所等を把握、事故防止に努める。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保<br>令和５年度　改修工事等　122件 | 改修工事等の設計・発注件数 | 173 | 173 | 122 | 136 | 129 | 0 | 89.7 | 75,018 | 76,941 | 84,419 | 80,000 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、緊急性等を考慮し概ね実施することができた。<br>育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 19 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校改修事業費 | 小学校校舎外壁改修事業（実計） | 教育総務課 | 令和3年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>小学校校舎外壁改修工事<br><br>目的<br>老朽化した外壁木板の脱落防止、雨漏り対策工事を実施し、教育環境を整備する。<br><br>成果<br>【令和４年度実績】<br>令和４年度東風小学校外壁改修工事, 令和４年度可也小学校実施設計業務<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度可也小学校外壁改修工事（完了） | 校舎外壁工事発注（校） | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 100.0 | 1,650 | 27,187 | 5,390 | 0 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、可也小学校外壁改修工事を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 19 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率(%) | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 2 | 3 | 小学校大規模改造事業費 | 波多江小学校校舎大規模改造事業（AP） | 教育総務課 | 平成31年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>令和１-令和４　波多江小学校校舎大規模改造工事<br>令和４-令和５　波多江小学校屋内運動場大規模改造工事<br><br>目的<br>老朽化した校舎及び屋内運動場の大規模改造工事により、事故を防止し、児童教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。<br><br>成果<br>【令和元年度実績】<br>児童・教職員の良好な教育環境の確保。<br>令和元年度　大規模改造工事実施設計（５棟）<br>【令和２年度実績】<br>令和２年度　大規模改造工事（５棟）着手，　〃　（２棟）解体完了<br>【令和３年度実績】<br>令和３年度　大規模改造工事（３棟）継続<br>【令和４年度実績】<br>令和４年度　大規模改造工事（３棟）完了，屋内運動場大規模改造工事実施設計業務<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度屋内運動場大規模改造工事（完了） | 工事（校） | － | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 103,131 | 251,541 | 93,432 | 0 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、屋内運動場大規模改造工事を実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 16 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校改修事業費 | 小学校トイレ改修事業（AP） | 教育総務課 | 平成31年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>【小中学校トイレ改修工事】<br>令和２年度　雷山小、前原中<br>令和３年度　長糸小、桜野小<br>令和４年度　加布里小<br>令和５年度　福吉中学校<br>令和６年度　姫島小、南風小、一貴山小、二丈中学校<br>令和７年度　福吉小、引津小、志摩中学校<br><br>目的<br>家庭のトイレ環境の変化に伴い、和式便所から洋式便所へ改修することで、学校施設の衛生環境を確保することを目的とする。<br><br>成果<br>【令和２年度実績】令和２年度　雷山小、前原中学校トイレ改修工事<br>【令和３年度実績】令和３年度　長糸小、桜野小学校トイレ改修工事<br>【令和４年度実績】令和４年度　加布里小学校トイレ改修工事<br>【令和５年度実績】令和５年度　福吉中学校トイレ改修工事<br>【小中学校洋式化率】<br>令和２年度　57.7%<br>令和３年度　60.1%<br>令和４年度　66.8%<br>令和５年度　68.7% | 工事設計・工事発注（校） | － | 1 | 1 | 1 | 4 | 14 | 100.0 | 87,680 | 208,074 | 7,518 | 165,168 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、南風小、一貴山小、姫島小学校のトイレ改修工事実施設計業務を計画どおりに実施した。<br>家庭のトイレ環境の変化に伴う、衛生環境の確保は、設置者の責務であり、早急な事業実施が必要である。 | 17 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校大規模改造事業費 | 前原南小学校校舎大規模改造事業（AP） | 教育総務課 | 令和2年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>令和２年度～令和５年度　前原南小学校校舎大規模改造及び増築工事<br><br>目的<br>伊都の杜の児童数の増加に伴い校舎の増築を行う。<br>老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。<br><br>成果<br>【令和２年度実績】<br>令和２年度　前原南小学校校舎大規模改造等実施設計監理業務（2棟）<br>【令和３年度実績】<br>令和３年度　前原南小学校校舎大規模改造増築工事（完了）<br>令和３年度　前原南小学校校舎大規模改造工事（着手）<br>【令和４年度実績】<br>令和４年度　前原南小学校校舎大規模改造工事（継続）<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　前原南小学校校舎大規模改造工事（完了） | 工事（校） | － | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 537,545 | 208,074 | 337,070 | 0 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、校舎大規模改造工事を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 16 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 2 | 3 | 小学校大規模改造事業費 | 雷山小学校屋内運動場大規模改造事業（ＡＰ） | 教育総務課 | 令和４年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>屋内運動場大規模改造工事<br><br>目的<br>老朽化した屋内運動場の大規模改造工事により、事故を防止し、児童・教職員・利用者の安全を確保し、良好な学びの環境を提供するとともに、災害時における指定避難所としての防災機能強化を図る。<br><br>成果<br>【令和４年度実績】<br>令和４年度実施設計業務<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度雷山小学校屋内運動場大規模改造工事（完了） | 工事（校） | | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 0 | 4,158 | 180,889 | 0 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、屋内運動場の大規模改造工事を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 16 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校大規模改造事業費 | 引津小学校校舎大規模改造事業（ＡＰ） | 教育総務課 | 令和４年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>令和４年度～令和５年度　引津小学校校舎大規模改造工事<br><br>目的<br>老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。<br><br>成果<br>【令和４年度実績】<br>令和４年度　引津小学校校舎大規模改造実施設計<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　引津小学校校舎大規模改造工事（完了） | 工事（校） | | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 0 | 1,056 | 54,790 | 0 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、校舎大規模改造工事を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 16 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校大規模改造事業費 | 深江小学校校舎大規模改造事業（ＡＰ） | 教育総務課 | 令和４年度 | 令和７年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>令和４年度～令和７年度　深江小学校校舎大規模改造工事<br><br>目的<br>老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。<br><br>成果<br>【令和４年度実績】<br>令和４年度　深江小学校校舎大規模改造実施設計<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　深江小学校校舎大規模改造工事（着手） | 工事（校） | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 8,410 | 248,714 | 399,147 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、校舎大規模改造工事を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 16 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校改修事業費 | 小学校プール循環ろ過設備改修事業（実計） | 教育総務課 | 令和５年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>南風小学校プール循環ろ過設備改修工事<br><br>目的<br>小中学校のプールは、透明度が高く、滅菌により安全・安心な水を作るため循環ろ過装置が必要である。現状では、耐用年数（15年）を過ぎ20年以上使用しているため、ろ過効率が落ち、藻（あおこ）の発生や透明度が低下している。よってろ過設備を更新することにより機能を向上させ、プール水質基準を保持、良好な学習環境を整える。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>児童・教職員の良好な教育環境の確保<br>令和５年度　南風小学校プール循環ろ過設備工事 | 工事設計・工事発注（校） | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 9,098 | 9,760 | 13,548 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、プール循環ろ過設備改修工事を計画どおりに実施した。<br>老朽化したろ過設備を改修する事業であるため、衛生管理上必要な事業である。 | 19 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 2 | 3 | 小学校設備設置事業費 | 小学校特別教室空調設備設置事業（実計） | 教育総務課 | 令和４年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>小学校特別教室空調設備設置工事<br><br>目的<br>小学校教育環境整備<br>（小学校特別教室の空調環境の向上）<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　小学校空調設備設置工事（完了） | 設置工事（教室） | | 26 | 25 | 25 | 0 | 51 | 100.0 | 0 | 99,435 | 94,174 | 0 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、小学校特別教室空調設備設置工事を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正管理は設置者の責務であり、教育環境の整備のため必要な事業である。 | 19 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校大規模改造事業費 | 福吉小学校校舎大規模改造事業（ＡＰ） | 教育総務課 | 令和５年度 | 令和７年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>令和５年度～令和７年度　福吉小学校校舎大規模改造事業<br><br>目的<br>老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　福吉小学校校舎大規模改造実施設計 | 工事（校） | | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 2,772 | 27,331 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、校舎大規模改造工事実施設計業務を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 16 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校改修事業費 | 南風小学校校舎解体事業（実計）（ＡＰ） | 教育総務課 | 令和５年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>南風小学校校舎解体工事<br><br>目的<br>小学校教育環境整備として、老朽化した校舎を解体することで、事故を防止し、児童・教職員の安全確保、良好な学びの環境を提供する。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　南風小学校校舎解体工事 | 校舎解体工事発注（校） | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 3,283,720 | 0 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、南風小学校校舎解体工事を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 19 |
| 10 | 2 | 3 | 小学校改修事業費 | 加布里小学校教室改造事業（単・実） | 教育総務課 | 令和５年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>加布里小学校教室改造工事<br><br>目的<br>加布里２児童クラブを加布里小学校家庭科教室に新設することとなったため、家庭科教室を多目的教室に移設し、教室の有効活用を行う。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　加布里小学校教室改造工事 | 教室改造工事発注（校） | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 7,887,000 | 0 | A | 加布里２児童クラブ設置に伴い、多目的教室を家庭科教室に改造工事を実施し、教室の有効活用を行った。<br>児童クラブの不承諾問題は、学校全体での検討が不可欠であり、必要な事業である | 19 |
| 10 | 3 | 1 | 中学校管理費 | 部活動地域移行推進モデル事業（実計） | 学校教育課 | 令和５年度 | 令和６年度 | 一般会計 | 対象<br>部活動をしている生徒及び中学校教員<br><br>手段<br>モデル校を設定し、部活動の土日の活動を部活動指導員に担ってもらうことで、まずは、モデル校における運動部活動の土日の地域移行を進める。<br><br>目的<br>中学校における部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図る。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度新規事業、モデル校（志摩中学校） | 部活動指導員の指導を受ける部活が複数ある中学校の数 | － | － | 1 | 1 | 1 | 6 | 100.0 | － | － | 1,559 | 4,781 | A | 休日に生徒が専門的な指導等が受けられるようにするため、専門性を持った地域の専門家を派遣したり、地域の社会体育団体等に生徒が参加したりするなど、学校と地域が連携を図り、生徒にとって望ましい環境を構築するためには必要な事業である。 | 12 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 3 | 3 | 中学校改修事業費 | 中学校トイレ改修事業（AP） | 教育総務課 | 平成31年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>【小中学校トイレ改修工事】<br>令和２年度　雷山小、前原中<br>令和３年度　長糸小、桜野小<br>令和４年度　加布里小<br>令和５年度　福吉中学校<br>令和６年度　姫島小、南風小、一貴山小、二丈中学校<br>令和７年度　福吉小、引津小、志摩中学校<br><br>目的<br>家庭のトイレ環境の変化に伴い、和式便所から洋式便所へ改修することで、学校施設の衛生環境を確保することを目的とする。<br><br>成果<br>【令和２年度実績】令和２年度　雷山小、前原中学校トイレ改修工事<br>【令和３年度実績】令和３年度　長糸小、桜野小学校トイレ改修工事<br>【令和４年度実績】令和４年度　加布里小学校トイレ改修工事<br>【令和５年度実績】令和５年度　福吉中学校トイレ改修工事<br>【小中学校洋式化率】<br>令和２年度　57.7%<br>令和３年度　60.1%<br>令和４年度　66.8%<br>令和５年度　68.7% | 工事設計・工事発注（校） | | 1 | 1 | 1 | 4 | 14 | 100.0 | 0 | 3,168 | 54,327 | 103,653 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、福吉中学校のトイレ改修工事、二丈中学校のトイレ改修工事実施設計業務を計画どおりに実施した。<br>家庭のトイレ環境の変化に伴う、衛生環境の確保は、設置者の責務であり、早急な事業実施が必要である。 | 17 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値(終期) | R5達成率(%) | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 3 | 3 | 中学校大規模改造事業費 | 前原東中学校校舎大規模改造事業（AP） | 教育総務課 | 令和4年度 | 令和8年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>令和４年度～令和８年度　前原東中学校校舎大規模改造工事<br><br>目的<br>老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する。<br><br>成果<br>【令和４年度実績】<br>令和４年度　前原東中学校校舎大規模改造実施設計<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　前原東中学校校舎大規模改造工事（着手） | 工事（校） | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 6,237 | 66,076 | 327,821 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、校舎大規模改造工事を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 16 |
| 10 | 3 | 3 | 中学校改修事業費 | 福吉中学校校舎改修事業（実計） | 教育総務課 | 令和5年度 | 令和6年度 | 一般会計 | 対象<br>児童・教職員<br><br>手段<br>福吉中学校校舎改修工事<br><br>目的<br>建物外壁のモルタル等落下防止のための外壁改修及び雨漏り対策として屋上防水を実施し、教育環境を整備する。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>令和５年度　福吉中学校改修工事実施設計業務 | 校舎外壁工事発注（校） | | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1,760 | 41,782 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、福吉中学校校舎改修工事実施設計業務を計画どおりに実施した。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 19 |
| 10 | 3 | 3 | 中学校改修事業費 | 中学校施設改修事業（実計） | 教育総務課 | － | 永年 | 一般会計 | 対象<br>生徒・教職員<br><br>手段<br>糸島市立中学校の小規模営繕工事を行う。<br>校舎、体育館、プール等の建築物の改修工事及びグラウンド、校庭、屋外教育施設等の環境整備を行う。<br>一定年数以上経過した施設（建物）については、維持整備費用が必要である。<br>定期的な維持整備工事を実施することにより、施設そのものの寿命を延ばすことができ、結果的に経費の節減につながる。<br>３年に１度、施設の危険箇所点検を実施する。<br>実施年度・・・平成27、30、令和3、6、9<br><br>目的<br>市内中学校の小規模営繕工事を実施し、事故防止、施設の長寿命化を図る。３年毎に専門家による施設の調査・点検を実施し、危険箇所等を把握、事故防止に努める。<br><br>成果<br>【令和５年度実績】<br>児童・生徒・教職員の良好な教育環境の確保<br>令和５年度　改修工事等　68件 | 改修工事等の設計・発注件数 | 72 | 58 | 68 | 51 | 48 | 0 | 133.3 | 27,859 | 29,570 | 33,520 | 30,000 | A | 安全・安心に学習できる教育環境の整備として、緊急性等を考慮し実施することができた。<br>教育施設の適正な管理は設置者の義務であり、維持管理を行うには、必要な事業である。 | 19 |

■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策3：切れ目のない学習機会の充実　　施策①：生涯学習の推進とスポーツの振興

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】<br>施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 生涯学習課 | 地域振興部 | コミュニティ推進課 | 5 | 71,014 | 20 | 貸出利用者年間延べ人数（図書館） | 人 | 116,694 | 117,442 | 113,157 | 117,827 | 122,500 | 104% | 12.9% | 44.4% | C | 事務事業については、すべて計画どおり、順調に実施できている。<br>図書館運営については、年間利用者数・ボランティア活動の参加者数など、計画を上回る数値となっている。<br>今後も、レファレンス能力の向上などに取組ながら、市民に愛される図書館運営の充実を図る。<br>スポーツの振興については、市民満足度調査における「日頃から、スポーツに親しんでいる」市民の割合において、令和５年度の目標達成指標はやや下回ったが、コロナ禍前の平成３０年度を上回っている。これは糸島市運動公園の開園が要因の一つであると考えられる。<br>今後もスポーツ協会や指定管理者等と連携し、本市のスポーツの振興や健康増進に取り組んでいく必要がある。 | 成果上昇、コスト維持 |
| | | | | | | 21 | 読み聞かせボランティアの活動者年間延べ人数 | 人 | 118 | 238 | 91 | 110 | 130 | 262% | 100.0% | | | | |
| | | | | | | 22 | 日ごろから、スポーツに親しんでいる市民の割合（市民満足度調査） | % | 27.6 | 28.7 | 31.0 | 32.0 | 33 | 93% | 20.4% | | | | |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 4 | 8 | 図書館管理運営費 | 図書館運営事業 | 生涯学習課 | 平成30年度 | 永年 | 一般会計 | 対象<br>市民及び図書館利用者<br><br>手段<br>図書館資料の閲覧、貸出し、リクエスト、予約、相互貸借、レファレンス（調査相談）サービスやイベント開催等、すべての市民に対して、生涯学習の場を提供する。<br><br>目的<br>図書館は、すべての人が求める資料と情報を利用できるようにする役割を持つ、生涯学習の重要な拠点の一つである。このため、乳幼児から高齢者までの幅広い年代、障がいを持つ方や外国人等、多様な方に読書をする機会の提供を行う必要があり、すべての市民が読書に触れ合えるよう読書環境の充実を図る。<br><br>成果<br>①糸島市立図書館　※令和６年３月31日現在<br>②利用者数　117,442人　（前年度比 100.6%）<br>③年間貸出冊数　571,980冊　（前年度比 101.3%）<br>④蔵書冊数　334,109冊　（前年度比 102.7%）<br>⑤図書館利用者の満足度　90.7%　（前年度比 100.0%） | 赤ちゃん・ちいちゃい子・定例おはなし会実施回数 | 40 | 84 | 98 | 86 | 98 | 86 | 114.0 | 36,860 | 41,615 | 45,027 | 53,791 | A | ボランティアの協力を得られたことにより赤ちゃん・ちいちゃい子のおはなし会を隔月から毎月開催としたこと、また、図書館イベントの実施等により図書館の活性化が図られた。 | 2021 |
| 10 | 4 | 8 | 図書館管理運営費 | 読書習慣形成・定着支援事業（実計） | 生涯学習課 | 令和５年度 | 令和７年度 | 一般会計 | 対象<br>市民<br><br>手段<br>中高生向け、利用の多い30～50代向けのを購入する。また、市内の中学１年生にIDを付与し、朝読の時間に活用してもらう。<br><br>目的<br>特に中学2年生の不読率が急増しており、読書離れが深刻化しているため、読書習慣の形成・定着を図る必要がある。このため、中高生向け及び利用者の多い30～50代向けの電子書籍を購入し、読書離れを防止する。<br><br>成果<br>①電子書籍利用者数　3,158人　（前年度比 82.6%）<br>②電子書籍数　9,957冊　（前年度比 78.6%）<br>③郷土資料数　874件<br>旧前原町広報240件、旧二丈町広報219件、<br>旧志摩町広報415件 | 電子書籍購入冊数 | | | 1,431 | 1,424 | 1,584 | | 100.5 | | | 1,000 | 1,000 | A | 中学１年生にIDを付与したことにより、13～15歳の利用者数は増加（全体の約50%）したが、閲覧回数は少なかった。 | 20 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 5 | 1 | 福岡マラソン実施事業費 | 福岡マラソン実施事業（応援事業分）（実計） | 生涯学習課 | 平成26年度 | 令和７年度 | 一般会計 | 対象<br>市民、ランナー等<br><br>手段<br>福岡マラソン糸島協力会に補助金を支給し、福岡マラソン応援事業を実施。<br>・コースにおけるランナーの応援に関する事業<br>・大会運営の安全確保に関する事業<br>・ランナー及び来場者のもてなしに関する事業<br><br>目的<br>スポーツイベントの実施により、スポーツの振興と地域の活性化を図り、まちづくりへの市民の意識の高揚を図る。<br>併せて、糸島市独自の事業展開により大会を盛り上げ、糸島市を積極的にＰＲする事を目的とする。<br><br>成果<br>市民の沿道応援やもてなし事業への参加を促し、福岡マラソンをきっかけとして、市民のまちづくりへの参加に繋がった。<br>【令和５年度実績】<br>沿道応援事業　８事業<br>おもてなし事業　27事業 | 応援事業数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 | 3,305 | 8,088 | 8,636 | 10,000 | A | 大会参加ランナーからもフィニッシュ会場でのいとしまのおもてなしに高い評価をいただいており、継続して実施していく必要がある。 | 22 |
| 10 | 5 | 1 | スポーツチャレンジ事業費 | スポーツチャレンジ事業（実計） | 生涯学習課 | 平成29年度 | 令和6年度 | 一般会計 | 対象<br>市民<br><br>手段<br>①一流アスリートによる講演会（競技指導）の開催<br>②スポーツ推進委員及びスポーツ推進委員OB会による体力測定、ニュースポーツ指導等の拡充<br>③スポーツを始めるきっかけづくりとなる体験教室の実施<br><br>目的<br>全国的にスポーツの機運が高まる中、この契機を活かした事業を展開。スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供し、スポーツ習慣や健康志向の定着を図る。<br><br>成果<br>スポーツをはじめるきっかけづくりの場を提供し、多くの市民が参加することにより、スポーツ習慣や健康志向の定着を図り、市民の健康増進を促す。<br>【令和５年度実績】<br>①トップアスリートを招いたバレーボール教室　１回（参加者　成人及び中高女子201人）<br>②体力測定支援、ニュースポーツ等指導　24回（小学校５校　校区等19回）<br>③スポーツ体験教室等　７回実施（ウォーキング事業２回、ヨガ教室２回、障がい者スポーツ教室３回） | スポーツ事業実施回数 | 7 | 23 | 46 | 25 | 32 | 31 | 184.0 | 128 | 2,000 | 1,314 | 3,033 | A | 小学校やコミュニティセンターと連携し、スポーツ推進委員によるニュースポーツの指導や中高学生を対象としたトップアスリート講演会等、青少年の健全育成及びスポーツを通じた市民の健康増進を図った。 | 22 |
| 10 | 5 | 2 | 体育施設改修事業費 | 体育施設LED化事業（実計） | 生涯学習課 | 令和４年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>体育施設利用者<br><br>手段<br>体育施設夜間照明のLED化<br>令和４年度　歴史の里曲り田野球場夜間照明LED化<br>令和５年度　芥屋野球場夜間照明LED化<br><br>目的<br>施設の安全性及び利便性を高め、利用者の増加を促し、スポーツの振興を図る。<br><br>成果<br>安全で快適な体育施設の確保及び施設の長寿命化<br>【令和４年度実績】<br>歴史の里曲り田野球場夜間照明LED化を実施<br>【令和５年度実績】<br>芥屋野球場夜間照明LED化を実施 | LED化した体育施設数 | | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 100.0 | | 31,438 | 15,037 | 0 | A | スポーツの振興において、安全で快適にスポーツが出来る場所の提供は必要不可欠である。昼間の仕事が終わってからスポーツを楽しむ場所の確保も重要であり、併せて照明のLED化は環境負荷の軽減にも繋がっている。 | 22 |

■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策3：切れ目のない学習機会の充実　　施策②：青少年の健全育成

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】<br>施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 生涯学習課 | 地域振興部 | － | 3 | 4,552 | 23 | 子ども会育成会連絡協議会の取組であるジュニア・リーダーの研修修了者数（累計） | 人 | 15 | 51 | 45 | 60 | 75 | 113% | 60.0% | 30.0% | D | 事務事業については、ほぼ計画どおり、順調に実施できている。<br>青少年健全育成事業については、市子ども会育成会連絡協議会と連携したリーダー育成や、青少年育成校区民会議を中心に各校区において地域の特色を活かした取組を進めている。<br>目標達成指標である「子ども会育成会連絡協議会の取り組みであるジュニア・リーダーの研修修了者数（累計）」については、目標達成に向けて順調に推移しており、今後も将来を担うリーダーの育成は重要であり、引き続き関係団体連携を図りながら取組を進めていく必要がある。<br>また、「地域全体で青少年の健全育成に取り組んでいると思う市民の割合（市民満足度調査）」については、低い実績となったが、令和元年度以降、コロナ禍の影響もあり地域における様々な活動が制限されたことによる影響が大きいと考えられる。昨年度からは地域の活動も少しずつ活発になっており、引き続き、「地域の子どもは地域で守り育てる」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちが健やかに育む環境づくりに取り組んでいく必要がある。 | 成果上昇、コスト維持 |
| | | | | | | 24 | 地域全体で青少年の健全育成に取り組んでいると思う市民の割合（市民満足度調査） | % | 32.5 | 22 | 35.8 | 36.4 | 37 | 61% | 0.0% | | | | |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 4 | 1 | 青少年育成事業費 | 青少年育成事業（経常） | 生涯学習課 | 平成２２年度 | 永年 | 一般会計 | 対象<br>市内の小学生や中高生、また青少年健全育成に寄与する取組を行う市内の団体及び個人<br><br>手段<br>生涯学習課（地域活動指導員）が実施する「ドリームトレイサー」や「糸島チャレンジクラブどんぐり」での共同生活や野外活動を通じて、仲間づくりや生きる力を育むための指導・支援を行っている。　また、子どもたちの集団での活動をリードするジュニアリーダーの輩出を目指し、中学生を対象とした研修を糸島市子ども会育成連絡協議会が中心となって実施。青少年健全育成に寄与する取組みを行う団体等へは資金の補助等も行っている。<br><br>目的<br>将来を担う子どもたちが、様々な体験活動を通して、自然や仲間の素晴らしさ、大切さを学び、たくましく成長し、地域のリーダーに育つことを目的とする。<br><br>成果<br>将来を担う子どもたちが健やかに成長し、自ら積極的に学ぶ意欲を持ち、自ら考える力、心豊かでたくましく生きる力などを身に付けることができるようになる。<br>【令和５年度実績】<br>・ジュニアリーダー研修会：４回、研修修了者：９人<br>・地域全体で青少年の健全育成に取り組んでいると思う市民の割合：22.0%<br>・ドリームトレイサー　講座：４回（ピザづくり31人、キャンプ33人、カヤック体験31人、農業体験28人）　参加者：34人<br>・どんぐり　講座４回（キャンプ6人、カヤック5人、農業体験4人、餅つき＆クラフト10人）参加者：14人 | 子ども会育成会連絡協議会の取組であるジュニア・リーダーの研修修了者数（累計） | 33 | 42 | 51 | 45 | 60 | 75 | 113 | 4,701 | 2,632 | 2,773 | 3,301 | A | コロナの影響が緩和し、各事業概ね計画通り実施できた。<br>どんぐり事業については、体調不良による欠席等で各回の参加人数が少なくなった。 | 23 |
| 2 | 1 | 7 | その他企画費 | いとしまSDGs再発見プロジェクト事業（実計） | 情報政策課 | 令和4年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>小学生、中学生、高校生、大学生、事業者等<br><br>手段<br>◆いとしまSDGs探検隊の結成（５～６月）<br>・探検隊の公募（広報いとしま７月号、小中学校・高校への案内、SNSによる発信）<br>⇒各チーム、小学生（高学年）２人、中学生1人、高校生1人、大学生1人　５人×２チーム＝合計10人<br>◆SDGs実践者の姿を取材（７～12月）<br>・取材交渉、取材（２～３日程度）、取材動画の編集<br>◆取材の成果物を市民に公表（1月）<br>・市民への成果発表会を開催（オンライン）<br>・マスコミ及びＳＮＳ等でプロジェクトの取り組みと成果を発信<br>◆事業実施（研究）報告書の作成・提出（３月）<br><br>目的<br>SDGsの達成に向けた取り組みを展開する市民や事業者等を訪ね、その姿を取材し、その成果物を市民等に公表する。<br>これにより、SDGsへの理解促進を図るとともに、市民一人ひとりが自ら課題に向き合い、主体的に解決策を考える機会を創出し、行変容を促す機会とする。<br><br>成果<br>プロジェクトを公表することで、関係人口の創出や、課題解決を通じた新たな官民連携のきっかけが期待される。 | 小・中・高校生、大学生のチームによる活動回数（１チーム当たり） | － | 5 | 5 | 5 | － | 5 | 100.0 | － | 1,681 | 1,072 | － | A | 計画通り官民が連繋し、動画を広く市内外に情報発信することができた。協定期間終了に伴い、事業も令和５年度で終了する。 | － |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 4 | 1 | 青少年育成事業費 | 未来地域リーダー育成プログラム事業（実計） | 生涯学習課 | 令和5年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象<br>市内の中学生<br><br>手段<br>地域に縁のある各界著名人等による実体験を交えた講義・体験・グループワーク等で構成する合宿型のリーダー育成プログラムを実施する。<br><br>目的<br>糸島市の発展のために、将来を担う次世代の人材を育成する。<br><br>成果<br>子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、将来を担う次世代のリーダーとしての資質や社会性を身につけることを期待する。<br><br>【令和５年度実績】<br>・合計３回（１泊２日×２回＋１日：計５日）<br>・研修修了者：17人 | 育成プログラムに参加した子どもの数（累計） | － | － | 17 | 20 | 40 | 60 | 85.0 | － | － | 707 | 1,425 | A | 募集目標をわずかに下回る参加者となったものの、参加者の将来や地域に対する考え方に寄与したものと思われる。 | 23 |

■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
基本目標1：未来社会で輝く子どもを育むまちづくり　　政策3：切れ目のない学習機会の充実　　施策③：文化・芸術の振興

【施策評価】

| 通し番号 | 施策統括課 | 施策統括部 | 関係課 | R5事業数 | R5決算額（千円） | 指標NO | 施策に関する目標達成指標 | 単位 | 現状（R1） | R5実績 | R5計画 | R6計画 | R7目標 | 年度達成率 | 計画期間達成率 | 平均達成率 | 指標の達成度 | 【評価の所見】施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力 | R7以降の事業の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 文化課 | 地域振興部 | － | 9 | 79,731 | 25 | 市主催の文化事業の参加者数 | 人 | 2,030 | 2,572 | 2,200 | 2,250 | 2,300 | 116.9% | 100.0% | 90.5% | A | 事務事業については、すべて計画どおり、順調に実施できている。<br>市主催の文化事業の参加者数は、コロナ禍以前の状況に回復しつつあり、計画を上回る実績を達成している。<br>国・県・市指定文化財の総件数は、計画的に進めており順調に推移している。<br>博物館等に来館した子どもたちにおける糸島の歴史に対する認知度については、認知度を高める各種取組により既に高い数値に達しており、この水準を維持するべく継続的に取組を進める。<br>令和７年度には、文化芸術振興計画を策定する。先進事例などを調査・研究しながら、本市の特性に合わせた、本市ならではの計画を策定し、更なる振興を図る必要がある。 | 成果上昇、コスト増大 |
| | | | | | | 26 | 国・県・市指定文化財の総件数 | 件 | 83 | 88 | 88.0 | 89.0 | 90 | 100% | 71.4% | | | | |
| | | | | | | 27 | 博物館等に来館した子どもたちにおける糸島の歴史に対する認知度（アンケート） | % | － | 80.0 | 65.0 | 70.0 | 75 | 123% | 100.0% | | | | |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要（対象、手段、目的、成果） | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 4 | 3 | 国宝の里づくり事業費 | 伊都国歴史遺産活用事業（実計） | 文化課 | － | － | 一般会計 | 対象<br>糸島市民及び市外在住者<br><br>手段<br>国庫補助を活用し、遺跡が所在する地元の会場等を用いた歴史シンポジウム等を開催する。講師陣は、各分野の専門家を招聘する。併せて、史跡への理解を深める映像等を作成する。<br><br>取り扱う史跡等<br>【令和2年度】新町支石墓群<br>【令和3年度】銚子塚古墳・釜塚古墳<br>【令和4年度】三雲・井原遺跡<br>【令和5年度】雷山神籠石と怡土城跡<br>【令和6年度】志登支石墓群と新町支石墓群（予定）<br><br>目的<br>シンポジウムや展示会等の普及活動を継続的に実施することで、糸島市民はもとより市外の多くの方々に、糸島市内の史跡への理解を促進し、糸島市のへの愛着を深めてもらい、糸島市の魅力を内外にアピールする。<br><br>成果<br>史跡の重要性、文化財愛護思想の醸成。<br><br>【令和5年度】下記の事業を実施した。<br>・雷山神籠石と怡土城跡をテーマとした歴史シンポジウムの開催<br>・同事業に係る発表要旨集の作成と頒布<br>・三雲・井原遺跡ＰＲビデオの作成と公開 | イベントの実施数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 | 2,000 | 2,002 | 2,000 | 3,002 | A | 計画どおり事業を実施し、指標を達成した。 | 25 |
| 10 | 4 | 4 | 国宝、重要文化財保存事業費 | 史跡公有化事業（実計） | 文化課 | － | － | 一般会計 | 対象<br>史跡用地の公有化し、将来の史跡整備のための環境を維持する。<br><br>令和３年度　銚子塚古墳（国史跡）の一部<br>令和４年度　釜塚古墳（国史跡）の一部<br>令和５年度　曽根遺跡群（国史跡）の一部<br>令和６年度　怡土城跡（国史跡）・曽根遺跡群（国史跡）の一部<br><br>手段<br>国庫補助事業を活用し、順次、史跡地を公有化する。<br><br>目的<br>住宅開発により失われる危機にある史跡用地の環境を保全するため用地を購入する。史跡用地を公有化することにより将来の史跡整備のための環境を維持する。<br><br>成果<br>史跡用地を公有化することにより保全される史跡地の面積が増加し、将来の史跡整備のための環境を維持できた。 | 史跡の公有地化率 | 22.0 | 23.0 | 23.0 | 24.0 | 24.0 | 100.0 | 95.8 | 5,604 | 65,802 | 10,699 | 20,455 | A | 一部事業計画に変更があったものの、史跡の公有化が進捗した。 | 26 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業3名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率(%) | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 4 | 4 | 国宝、重要文化財保存事業費 | 国指定史跡保存整備事業（実計） | 文化課 | 令和4年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象<br>史跡用地の伐採を実施し、将来の史跡整備のための環境を維持する。<br><br>令和4年度　怡土城跡（国史跡）<br>令和5年度　銚子塚古墳（国史跡）の一部<br>令和6年度　曽根遺跡群（国史跡）の一部<br>令和7年度　怡土城跡（国史跡）の一部<br><br>手段<br>国庫補助事業を活用し、順次、史跡地を伐採し史跡地の環境を整備する。<br><br>目的<br>史跡用地に繁茂し倒木などの危険のある樹木を伐採し、史跡用地の環境を整備する。<br><br>成果<br>史跡用地の伐採を行い、史跡用地の整備し環境を維持できた。 | 伐採箇所の件数 | － | 1 | 1 | 1 | 1 | 100 | 100.0 | － | 7,150 | 4,939 | 2,970 | A | 計画どおり事業を実施し、指標を達成した。 | 26 |
| 10 | 4 | 4 | 国宝、重要文化財保存事業費 | 国宝、重要文化財保存事業（発掘調査事業分）（実計） | 文化課 | 昭和54年度 | 令和11年度 | 一般会計 | 対象<br>重要遺跡の確認調査及び自己居住用個人住宅の建築に係る発掘調査等。<br><br>手段<br>対象となる遺跡の内容を明らかにするため発掘調査を実施する。<br><br>【調査方法】<br>重機で遺跡が存在する深さまで表土を除去し、人力により遺構検出、掘り下げを行う。その後、遺跡の測量、実測、写真撮影を行い、出土品を取り上げ、埋め戻す。取り上げた出土品は復元室において、洗浄、ナンバーリング、接合復元作業を行い、必要に応じて実測、写真撮影を行う。<br><br>【調査実績】<br>R03年度：泊大塚古墳発掘調査<br>R04年度：新町支石墓群・御道具山２号墳発掘調査、怡土城跡大鳥居口測量調査<br>R05年度：新町支石墓群報告書作成<br>R06年度：泊大塚古墳重要遺跡確認調査、個人住宅に係る発掘調査を予定<br><br>目的<br>市内の重要遺跡を保護し、史跡指定や整備活用を行うため、発掘調査を実施し、その成果を基に調査研究を行い遺跡の実態を解明する。また、自己居住用個人住宅の建設に伴う発掘調査を実施する。（原則的に建築主の費用負担は伴わない）<br><br>成果<br>重要遺跡の実態が解明され、保護され、国の史跡指定を受け、整備・活用される。<br>【令和３年度】<br>泊大塚古墳の発掘調査を行い、将来的な国史跡指定に向けてのデータを得た。<br>【令和４年度】新町支石墓群の発掘調査を行い整備に向けた詳細なデータを取得した。御道具山２号墳は将来的な国史跡指定にむけてのデータを得た。怡土城跡大鳥居口については測量を行い、今後の保存整備に向けた基礎データを得た。<br>【令和５年度】新町支石墓群発掘調査成果をまとめた報告書を作成した。 | 調査成果を公表する発掘調査報告書の刊行 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 100.0 | 4,121 | 5,234 | 3,622 | 4,400 | A | 計画どおり事業を実施し、指標を達成した。 | 26 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 4 | 4 | 国宝、重要文化財保存事業費 | 文化財保存整備事業（新町支石墓群）（実計） | 文化課 | 令和3年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象<br>市民、市外在住者<br><br>手段<br>国史跡新町支石墓群の整備事業について、国庫補助を利用して令和３～令和７年にかけて実施する。<br>令和３年度　整備基本計画策定<br>令和４年度　整備工事基本設計<br>令和５年度　整備工事実施設計<br>令和６・７年度　史跡整備工事<br><br>目的<br>国史跡新町支石墓群を保存し活用するために整備を行う。恒久的に遺跡を保存するための対策をとるとともに、学校教育、生涯学習、観光、市民生活などへの活用を視野に入れた整備を実施する。<br><br>成果<br>史跡の整備を行なうことで、史跡の重要性を再確認し、文化財愛護思想の醸成を図る。また、整備された史跡を地域のシンボルとして活用することで、市民の郷土愛の育成、健康増進を図る。<br>【令和３年度】<br>令和３年度は有識者、地元代表等から構成される国史跡新町支石墓群整備検討委員会を立ち上げ、２回の委員会（１回はコロナウイルス蔓延のため中止、１回は紙面決議）と地元説明会、パブリックコメントの集約を経て、国史跡新町支石墓群保存整備基本計画を策定した。<br>【令和４年度】<br>令和4年度は有識者、地元代表等から構成される国史跡新町支石墓群整備検討委員会を開催し、３回の委員会と地元説明会を経て、国史跡新町支石墓群整備工事基本設計を策定した。<br>【令和５年度】<br>令和5年度は、前年度に策定した基本設計に基づき、公園敷地部分の実施設計を策定した。また公園に敷設する駐車場予定地の用地買収を行った。 | 史跡整備の完了 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 | 4,344 | 9,160 | 7,565 | 90,542 | A | 計画どおり事業を実施し、指標を達成した。 | 26 |
| 10 | 4 | 6 | 歴史博物館特別展示事業費 | 国立博物館連携文化財公開事業（実計） | 文化課 | 令和5年度 | 令和5年度 | 一般会計 | 対象<br>市民、市外在住者<br><br>手段<br>令和５年度に東京国立博物館と連携・協力して伊都国歴史博物館で特別展を開催する。<br><br>目的<br>特別展を開催することにより、他地域の歴史との比較を通じて、市民に郷土糸島の歴史の素晴らしさを周知する。また、市内外に対して博物館の魅力を印象付けるとともに、観光等のPRの場ともする。<br><br>成果<br>有料の冬季特別展であったが、入館者は2,924人（会期1月27日～3月17日51日間） | 1月～３月記の博物館有料入館者 | | | 2,098 | 2,000 | | | 104.9 | | | 1,372 | | A | 計画どおり事業を実施し、指標を達成した。 | 25 |
| 10 | 4 | 6 | 歴史博物館等改修事業費 | 歴史博物館大規模改修事業（実計） | 文化課 | 令和5年度 | 令和7年度 | 一般会計 | 対象者<br>市民<br><br>手段<br>文化庁や関連機関等との協議を行いながら事業を実施する。<br>・令和5年度　基本設計<br>・令和6年度　実施設計<br>・令和7年度　改修工事<br>・令和9年度　統合に向けた作業。<br><br>目的<br>令和7年度に予定されている伊都国歴史博物館の大規模改修と令和9年度に予定されている志摩歴史資料館の統合を目指し、事業を実施する。<br><br>成果<br>・各種法令等に適合する建築物等の適切な維持管理<br>・文化財の管理に必要な保存環境の確保<br>・施設の統合 | 施設の改修、統合 | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.0 | | | 10,253 | 24,120 | E | 計画どおり事業を実施し、1年目となる令和5年度は基本設計を完了した | 25 |

【事務事業評価】

| 歳出科目（R5決算） | | | | 事業３名 | 担当部署 | 始期 | 終期 | 会計 | 事業概要(対象、手段、目的、成果) | 活動指標 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R5計画 | R6計画 | 目標値（終期） | R5達成率（%） | R3決算 | R4決算 | R5決算 | R6計画 | 評価 | 評価の所見<br>指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由 | 関連施策指標NO |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 款 | 項 | 目 | 事業２名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 4 | 10 | 伊都文化会館管理運営費 | 伊都文化会館音響設備等更新事業 | 文化課 | 平成31年度 | 令和6年度 | 一般会計 | 対象<br>市民（伊都文化会館利用者）<br><br>手段<br>ホールの心臓部である音響卓等の更新をリース契約として対応。<br>（リース終了後は、市に帰属）<br><br>目的<br>文化・芸術活動の拠点である伊都文化会館は、竣工30年以上を経過しており、施設の経年劣化が著しく、音響卓に不具合が生じているため、音響機器の更新を行い、安定的な音響サービスの向上を図る。<br><br>成果<br>安定的な音響サービスの提供を図る<br>【令和５年度実績】サービス提供継続（令和２年１月１日～令和６年12月31日）長期継続契約。 | 音響装置更新（リース）進捗率 | 45.0 | 65.0 | 85.0 | 85.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 4,301 | 4,301 | 4,301 | 3,226 | A | 長期継続契約に基づき、指標の達成状況は計画どおりである。音響機器の更新を行い、安定的な音響サービスの向上を図っている。 | 25 |
| 10 | 4 | 10 | 伊都文化会館改修事業費 | 伊都文化会館空調設備改修事業（実計） | 文化課 | 令和５年度 | 令和５年度 | 一般会計 | 対象<br>市民（伊都文化会館利用者）<br><br>手段<br>新型コロナウィルス感染症拡大防止のために必要な空調設備の機能強化整備を行う。<br><br>目的<br>伊都文化会館は、市が設置するワクチン接種会場という重要な設備である。新型コロナウィルス感染症拡大防止のために必要な空調設備の機能強化整備を行う。<br><br>成果<br>伊都文化会館の大ホールの空調設備（吸収式冷温水機）の改修工事を行い、感染症拡大防止を図った。 | 空調設備改修工事の設計・工事完了 | － | － | 1 | 1 | － | 1 | 100.0 | － | － | 34,980 | － | A | 計画どおり事業を実施し、指標を達成した。 | 25 |